

fitframe

極薄窓枠

取付説明書



森田アルミ工業株式会社

599-0201

大阪府阪南市尾崎町530-1

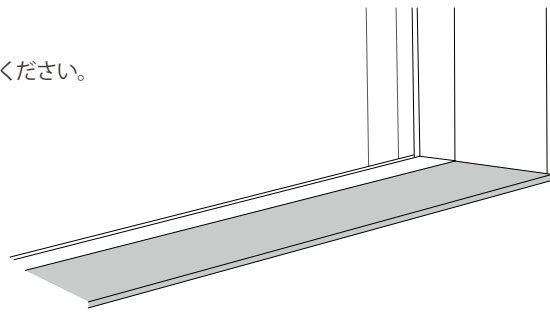
TEL 072-480-1400

FAX 072-480-1414

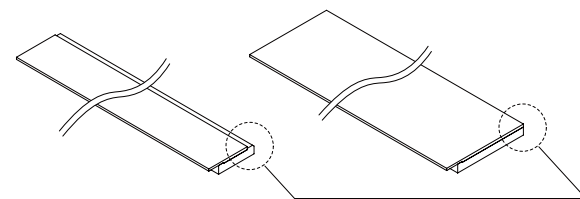
| <https://www.moritaalumi.co.jp>

このたびは、極薄窓枠fitframeをお買い上げ頂き、ありがとうございました。
ご使用前にこの施工説明書をよくお読みになり、正しく適切な方法で施工してください。

※本書はfitframeの施工を行う際の基本的な説明書です。
現場の状況によっては施工方法が変わる場合があります。



同梱、または提供している部材



fitframe 本体

下記の品番には
アングルしゃくりはありません。
FRA161-WH FRA162-WH
FRA162-BK
FRA161C-WH FRA161C-BK
FRA991-WH FRA991-BK



サラ コーススレッド Φ3.8×51
※カット対応分のみ同梱

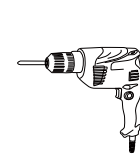


補修ペン（ブラック用）
※別売

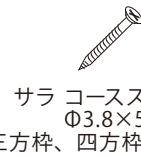


補修塗料（ホワイト用）
※別売

施工に必要な道具



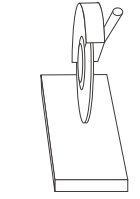
電動ドリル



サラ コーススレッド
Φ3.8×51
(三方枠、四方枠のみ使用)



ビスまたは
フィニッシュネイル



チップソー



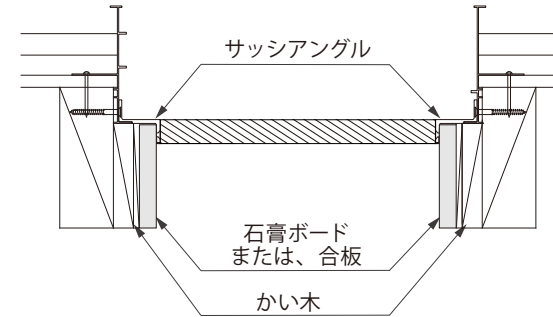
酢酸ビニル系ボンド

⚠️注意事項

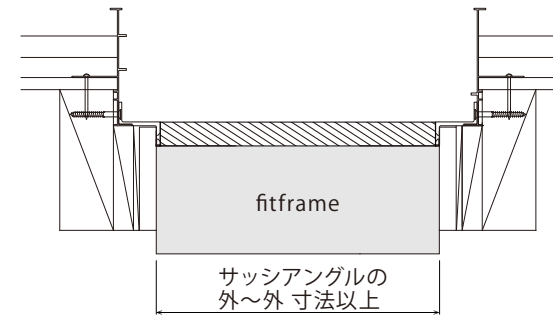
- ・本製品を取り付ける際には、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- ・本製品のビス止め時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締め付けトルクが強すぎるとビスが空転したり、つぶれる場合があります。
- ・本製品や下地に使用する接着剤は「F☆☆☆☆」またはノンホルムタイプのものを使用してください。
- ・本製品の取り付け下地材やかい木には、必ず乾燥材（含水率 15%以下）を使用してください。湿潤材は使用しないでください。
- ・壁内に結露発生のある場合は、しっかりと結露防止処理を行ってから本製品を取り付けてください。
- ・下枠部には、荷重を受けた際に沈みやたわみが起こらないよう必ずかい木を入れて施工してください。
- ・かい木を使用する際は、必ず接着剤を両面に塗布し固定してください。接着剤が少ないと、隙間や反りなどの原因となります。
- ・アングルしゃくりがある本商品での四方枠・三方枠は、サッシ取付位置から室内壁までの厚みが 126.5mm（例：構造用合板 9mm+ 柱 105mm+ 石膏ボード 12.5mm）の時のみ対応可能です。上記以外の場合は奥行 162.5mm 材をカットしてご使用ください。
- ・横枠は壁から 5mm 以内の出幅、縦枠は壁から 7.5mm 以内の出幅でご使用ください。本製品は、薄見付のため出幅が大きすぎると破損の原因になります。
- ・本製品の 4mm 厚部分には、カーテンレールなどの後付け製品は設置しないでください。20mm 厚部分に設置する場合は、後付け製品の施工基準に従い設置してください。
- ・本製品は防水仕様ではありません。屋外や常時湿気のある場所、水のかかる場所でのご使用はしないでください。腐食や膨張の原因となります。
- ・本製品をコンクリートやモルタルなどに直付けしないでください。反りや膨張の原因となります。
- ・四方枠・三方枠組立後、ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないでください。破損の原因となります。
- ・取付後は、傷や汚れを防ぐために養生をしてください。
- ・屋外など水がかかったり、直射日光の当たる場所で保管しないでください。
- ・立て掛けた状態での保管はしないでください。反りや破損の原因となります。

1. 窓台（膳板）の取付

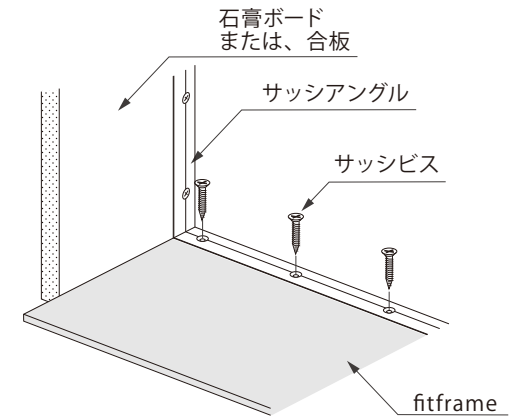
①サッシアングルと間柱の間にかい木と石膏ボード、または合板を取り付け下地を作ってください。



② ①の間口の寸法に合わせて窓台を切断し差し込んでください。



③サッシアングルと fitframe をサッシビスで固定してください。



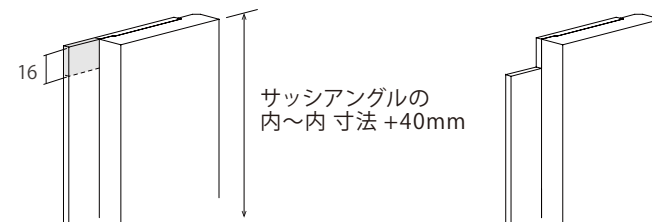
⚠️ 注意
膳板は、荷重を受けた際に沈みやたわみが起きないように、下地にしっかりと固定してください。

2-1. 四方枠・三方枠の組立

⚠️ 注意

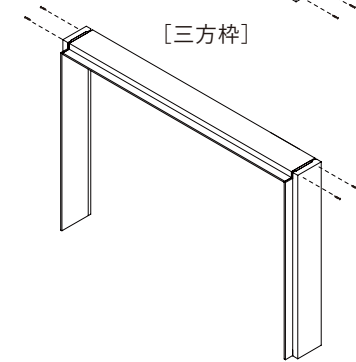
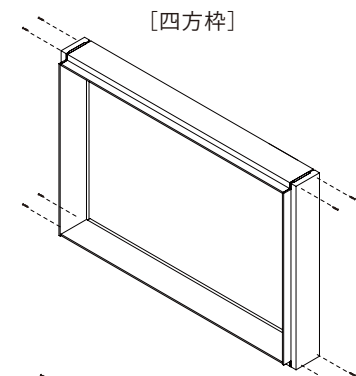
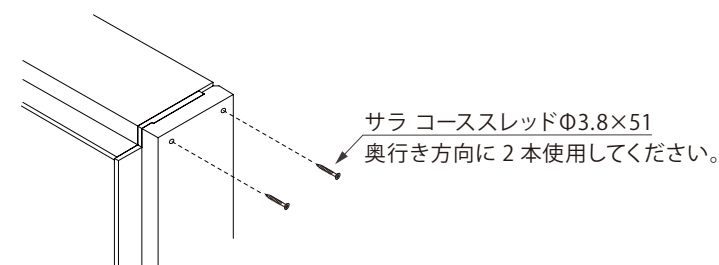
アングルしゃくりのある本製品での四方枠・三方枠はサッシ位置から室内壁までの厚みが 126.5mm（例：構造用合板 9mm+ 柱 105mm+ 石膏ボード 12.5mm）の場合のみ対応可能です。上記以外の場合は、奥行 162.5mm 材をカットしてご使用ください。

①縦枠に使用する fitframe をサッシアングル内～内寸法 +40mm で切断した後、端部 4mm 厚部分を 16mm 切り欠いてください。



②横枠をサッシアングル内～内寸法に切断してください。

③縦枠と横枠をサラ コーススレッドΦ3.8×41 で固定して組み立ててください。固定の際は、必ず下穴（Φ2.5mm）を開けてください。



2-2. 四方枠・三方枠の取付

- ①組み立てた窓枠をサッシアングルに合わせて差し込み、
かい木を入れて、水平、垂直になるように調整してください。

△ 注意

かい木は 300mm ピッチ以下で入れてください。

かい木(現場手配)

かい木に市販の接着剤(酢ビ系)を
両面塗布してください。

ビス

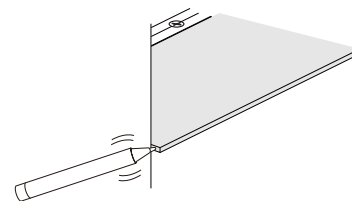
- ②サッシアングルと窓枠をビスで固定してください。

ビスまたは
フィニッシュネイル

- ③窓枠をビスまたはフィニッシュネイルで固定してください。

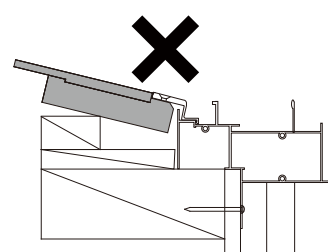
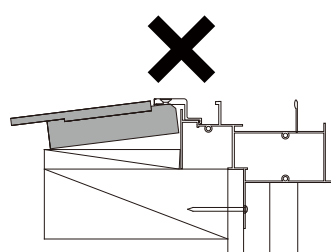
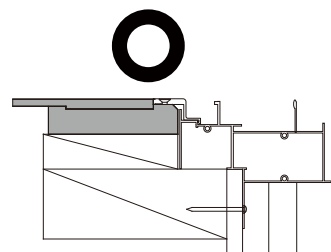
3. 木口の補修

施工後、木口が露出している面を補修ペン等で補修してください。



△ 注意事項

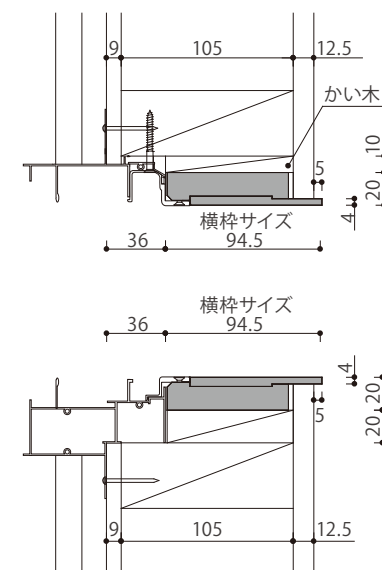
かい木を使用して、正確に水平垂直を出してください。傾きやねじれがあると施工不良の原因となります。



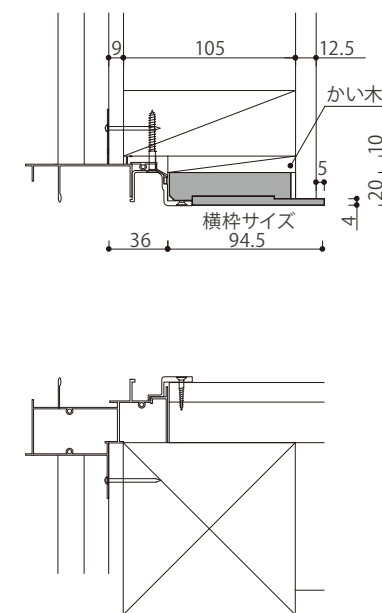
納まり例

縦断面図

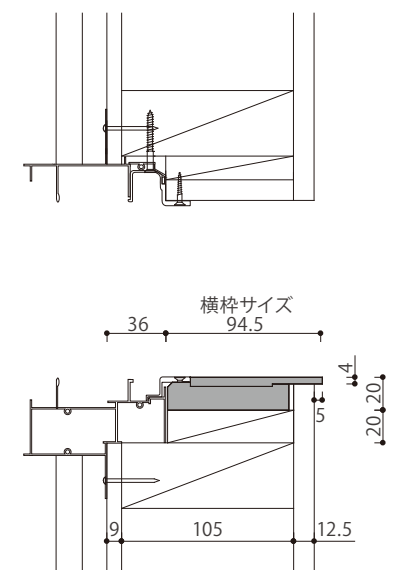
[四方枠]



[三方枠]

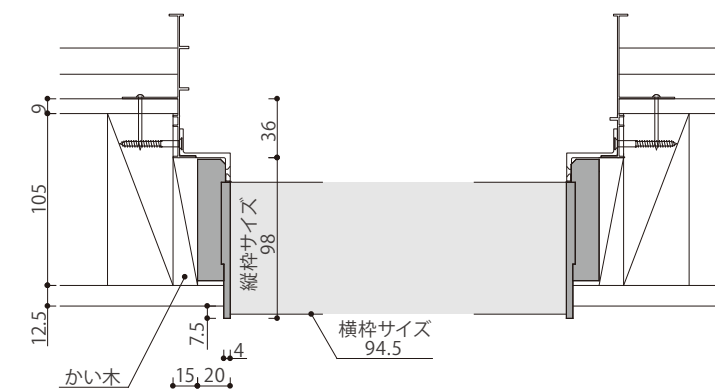


[窓台(膳板)]



横断面図

[四方枠]



[窓台(膳板)]

